

平成27年度 第7回 経済学研究科教授会(1) 議事概要

I. 日時 平成27年11月18日(水) 13時30分～14時15分

II. 新副研究科長 挨拶

研究科長より、前副研究科長への謝辞と新副研究科長就任の紹介があり、新副研究科長より挨拶があった。

III. 平成27年度第6回研究科教授会(1) 議事要録・議事概要を確認した。

IV. 議事

◎審議事項

1. 平成27年度前期課程再入学試験の合否判定について
選抜委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
2. 大学院入学試験の追加合格について
選抜委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
3. 平成28年度博士後期課程外国人特別選抜経済学国際教育プログラム入学試験学生募集要項(案)について
選抜委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
4. 学位論文の受理について
提出のあった学位申請1件について、推薦者の教授から申請者の経歴、研究業績に関する説明があり、審議の結果、仮受理することを承認した。続いて、投票により仮審査委員として3名を選出し、本受理するかどうか及び学力確認のための試問が省略できるかどうかについての審査を付託した。
5. 平成28年度授業計画(案)について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
6. 平成27年度修士論文審査委員(本科、専修、社会人コース)の選出について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
7. 課程博士論文提出予定者の公開セミナーの結果について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
8. 平成27年度前期学力試験指定授業科目の合格者(追認)について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
9. ダブルディグリープログラム学生の既修得単位の認定について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
10. 博士論文全文の公表延期について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
11. 平成27年度学生の海外派遣について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
12. ケント大学(英国)との学術交流協定について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
13. ニューカレドニア大学(仏国)との学術交流協定について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

14. ルーヴェン大学(ベルギー)仏語系経済学部との学生交流実施細則について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
15. ルーヴェン大学(ベルギー)和蘭語系社会科学部との学生交流実施細則について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
16. フランス国立社会科学高等研究院パリ日仏高等研究センターとの学術交流協定について
国際交流委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
17. 平成27年度(後期)ティーチング・アシスタントの採用について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
18. その他
 - (1) 平成27年度授業計画の一部変更について
教務委員から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

◎報告事項

1. 学力試験、外国語試験の合格状況について
教務委員から資料に基づいて報告があった。
2. 平成22年度以降後期課程入学者のミクロ経済学及びマクロ経済学の認定について
教務委員から資料に基づいて報告があった。
3. 学力試験指定授業科目の認定について
教務委員から資料に基づいて報告があった。
4. 各種委員会報告(EUIJ関西・日欧連携教育府)について
担当教授から、育児休業中の准教授(国際交流推進本部)が、H28.4.1付けで復職予定であり、経済の授業担当を依頼している旨報告があった。また、ブリュッセルでのインターンシップについて、テロの影響で中止となる可能性が高い旨、報告があった。
5. その他
 - (1) 進路指導調査について
学生委員から、キャリアセンターからの依頼による、学生の進路調査実施について協力依頼があった。

以上

平成27年度 第7回 経済学研究科教授会(2) 議事概要

I. 日時 平成27年11月18日(水) 14時30分～16時10分

II. 平成27年度第6回研究科教授会(2) 議事要録・議事概要を確認した。

III. 議事

◎審議事項

1. 教員人事について

(1) GMAP(GMAP経費枠) 採用人事

採用候補者の審査結果について審査委員から説明があり、審議の結果、再度ジョブセミナーを実施して審査を行い、平成28年2月の採用候補者として、1月教授会にて審査報告及び採決を行うこととなった。

(2) 比較経済政策講座 採用人事

採用候補者の審査結果について、審査委員から説明があり、審議の後投票した結果、平成28年4月1日付けで講師(テニュアトラック)として採用することを承認した。

任期:平成28年4月1日～平成31年6月30日

(3) 共通枠(留学生担当) 教員人事

研究科長より、現在比較経済政策講座の定員を使用している共通枠の留学生担当准教授を、H28.4.1付けで理論分析講座に配置替とする旨説明があり、審議の結果、原案の通り承認した。

(4) 計量・統計分析講座(テニュアトラック)採用人事 選考委員の変更について

担当教授より、現選考委員の教授が推薦する応募者が生じたことによる同教授の委員辞退と、交替の選考委員を選出することについて説明があり、投票の結果、准教授1名を選出した。

2. 名誉教授候補者の選考について

研究科長から資料に基づいて3名を名誉教授に推薦したい旨説明があり、審議の結果原案の通り承認し

3. 平成27年度補正予算(案)について

会計係長から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案の通り承認した。

4. 特別研究制度について

研究科長より、現に1年以内の適用を受けている教員から1年間の期間延長の申出があり、本件については適用中の延長ということで対応したい旨説明があった。また、今後の対応のため、内規の改正を将来計画委員会にて検討する旨説明があり、審議の結果、承認した。

5. 招へい外国人研究者の受入について

研究科長及び受入れ教授から資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案の通り承認した。

6. その他

(1) 任期付きの教員採用時に在学時のTA等の雇用歴が影響する可能性があることについて、教員及び学生への確認・周知が必要であるとの提案があり、次回教授会にて審議することとした。

◎報告事項

1. 社系府の改組について

研究科長から資料に基づいて報告があった。

2. 海外渡航について

研究科長から資料に基づいて報告があり、「海外渡航中の連絡先」の届出様式が変更になったことについて説明があった。

3. 各種委員会報告

学内各種委員会について、各委員より報告があった。

4. その他

研究科長より、KUIDの入力について再度依頼があった。

以上